

# 「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【埼玉県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）

1 埼玉県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は3万1,900haで、前年産に比べ100ha減少した。

また、主食用作付面積は3万600haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数がやや多いことから「やや多い」となった。

3 登熟は、出穂期以降、天候がおおむね順調に推移したことから「やや良」が見込まれる。

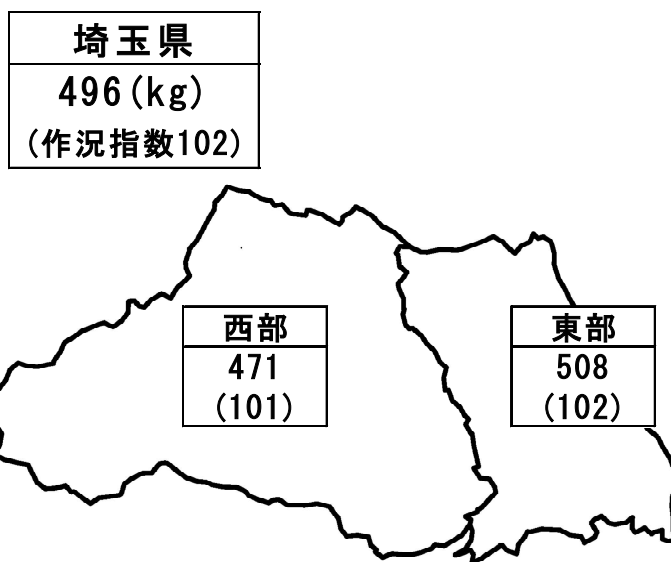
4 この結果、埼玉県の10a当たり予想収量は496kgで、前年産に比べ14kgの増加が見込まれる。

また、作柄表示地帯別では、東部で508kg（前年産に比べ18kg増加）、西部で471kg（同6kg増加）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された埼玉県の作況指数は102が見込まれ、作柄表示地帯別では、東部で102、西部で101が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は15万8,200tで、前年産に比べ4,000tの増加が見込まれる。

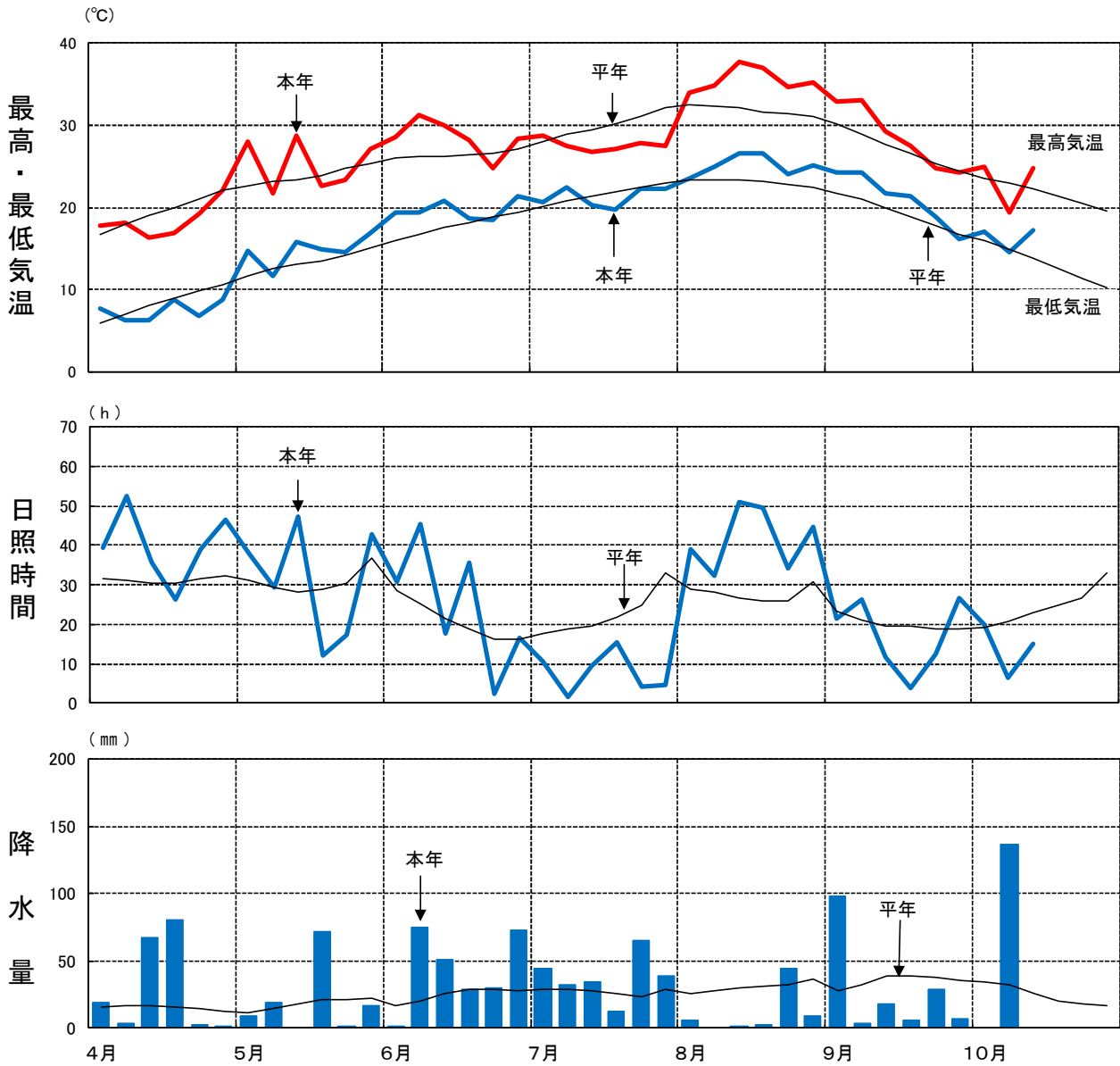
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は15万1,800tで、前年産に比べ2,900tの増加が見込まれる。



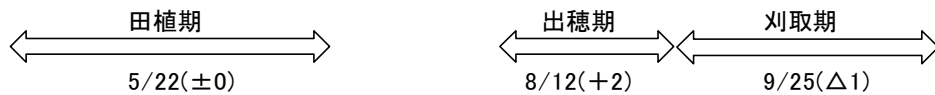
○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。  
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和2年 半旬別気象（熊谷）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、（ ）内は、平年との遅速（日数）を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 統計部 統計調査チーム  
 電話：048-740-1016  
 F A X：048-740-5923